



今年は大寒波で雪が降る地方では一日に1メートルも積もり、雪かきや雪下ろしで本当に大変なことと思います。私たちは「雪」が少し降るととても嬉しい気持ちになりますが、雪の多い地方では普段通りの生活もできなくなってしまいます。今年は今までにない大雪、寒い地方の方々の生活が守られますよう心からお祈りいたします。

雪の季節になるとみすゞさんの「積もった雪」を思い出します。

「積もった雪」の詩の中で、上の雪、下の雪、中の雪とありますが、どうしてみすゞさんはこのように考えることができたのでしょうか。

まず、雪の気持ちになる・・・ということがすごいと思いました。

深く積もると雪が何層にも積もっているのがわかるかもしれませんが、「中の雪」のことを考えると、思いもよらないことでした。

みすゞさんは、いつも、「見えないもの」「見えない部分」に心を寄せています。

この詩の「3層」を、人や社会とみることができると言われます。

いつも空も地面(じべた)も見えない弱い立場の人もおられると思います。

「3層」をいろいろな立場の人がおられるということを考えると同時に、わたしは一人の人の中にも3層があるのではないかと思います。

人はいろいろな側面を持っていて、人はさまざまな思いを抱えています。

見える部分ばかりを見てしまうわたしたち。見えない部分はどうか…

見えないもの、何かを抱えている人の心にも目を向け、優しいまなざし、声掛けができる人になりたいと思います。

